

常任委員会 審査から

六常任委員会の審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載します。

総務委員会

デジタルミュージアム(仮称)整備推進事業費について委員から平成17年8月をオープンの当初計画に遅れを生じているのではないかと名称の公募等により盛り上げが必要ではないかと、市執行部からの質問があり、市執行部から今後の日程を考えると厳しいものがあるが、四階部分は17年8月の、五階部分は情報宝庫のテストを終える10月のオープンを予定している。名称は、公募等により意見を聴取し早期に決定したいとの答弁があった。

玉野市との合併協議会設置議案について委員から玉野市からの意見照会に対し、翌日に議案を付議する旨を回答しているが、議論はしたのか、回答に添付した規約案はいつ検討したのか、との質問があり、市執行部から平成14年から研究会等で議論を重ねており、16年7月に開始された署名活動も局長会議

等で報告はしていた。規約案は、一市二町の合併協議会規約に準じて作成した後、双方の事務当局で折衝し両市議会に提案したとの答弁があった。

保健福祉委員会

市立吉備病院を平成17年4月1日付けで(補)恩賜財団済生会に移譲することに伴う岡山市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について委員から、現在入院中の患者はどうするのか、との質問があり、市執行部から、五十人余の入院患者は済生会病院が引き継ぐ予定だが、全員の引き継ぎは道義的、技術的に困難であり、市民病院としても対応したいとの答弁があった。さらに委員から、個々の患者の状況を考慮し、本人や家族と十分話し合っ

環境消防水道委員会

てほしいとの要望があった。

廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造し、ごみ収集車等の燃料として活用する事業の実施可能性を調査するバイオディーゼル燃料製造事業化調査事業費について委員から、資源循環型社会の推進に寄与する事業であり、効率的な収集体制の構築やバイオ燃料の品質向上など、採算が取れる生産システムづく

りに向け、先進地の事例も含め研究してほしいとの要望があった。

経済委員会

台風16号により被災した農業者、漁業者に対し、経営維持や災害復旧に必要な資金借入れの利子補給を行うための補正予算について委員から、補正予算額の算定基準は、との質問があり、市執行部から、農林水産業費については、農協、漁協への聞き取り調査から算定した被害総額を融資枠として利子補給額を算定し、七十歳の融資年齢制限も原則取り除いている。商工費については、商工業者の罹災証明から算定した一件当たりの被災平均額に被災した中小企業数を乗じた金額を融資枠として算定したとの答弁があった。

建設委員会

下石井公園の再整備計画の作成と公園利用状況の調査を委託するためのまちづくり交付金事業費について委員から、参考図では保育園の位置等が示されているが、既にここまで内容が詰められているのか、との質問があり、市執行部から、これはあくまで旧出石小学校校跡地利用のプロポーザルで提案のあったもので、これから地元との協議等

も含め下石井公園の整備を進めていくとの答弁があった。

大元中央公園の一部を市立大元小学校の運動場と一体的に兼用利用するための公園と学校の間にある市道の一部廃止について委員から、市道は現に利用さ



大元中央公園

れどおり、廃止に当たり住民意見を求めるなどの丁寧さが足りないのではないかと、この指摘があり、市執行部から、教育委員会に公園部門として協力するもので、教育委員会からは、PTA、連合町内会等の関係団体や地域住民の了解を得ていると報告を受けているとの答弁があった。これに対し委員から、教育委員会の報告だけで判断せず、市道を所管する都市整備局自ら住民の意見を確認し検討すべきだ、との指摘があった。

次回本会議のお知らせ

11月定例会は、11月29日(月)から12月21日(火)まで開催の予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

先般の台風により被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

さて、9月定例会では、玉野市との合併協議会の設置や台風による被災者の支援対策、水道料金の改定など市政の重要課題について活発な論戦を繰り広げました。

市議会だより第三十四号では、これらの内容についてお伝えします。ご一読いただければ幸いです。

文教委員会

市立大元小学校の校舎増築に